

第4回岐阜市教育振興基本計画検討委員会

事務局説明資料

R4.11.8

1. 本日の審議事項について

1-1. 本日も審議いただきたいこと

- 本日は一点、以下の事項についてご審議いただきたい

本日の審議事項

諮問事項1～4に対する、検討委員会としての答申(案)について、
最終のご確認及び決定をいただきたい。

- ▼ 最終段階として、答申(案)の軽微な修正等についてご意見があれば頂戴し、
本日、修正を踏まえたうえでの答申(案)を決定したく考えております

1-2. 教育委員会の諮問の概要

■ 諮問事項

1. 岐阜市教育大綱の基本方針、及び子ども、学校・教職員、家庭・地域それぞれの目指す姿を具現化するための今後5年間の教育の基本的方向性と主な施策
2. コンパス・キューブやコモン・チャレンジ・サポートの考え方を、次期計画の目指す教育の在り方に即した形へと発展させていくための視点
3. 「オール岐阜市」で取り組むために、全ての人々にとって身近で、親しみやすい計画とするための工夫
4. EBPMの考え方に基づく、客観的な根拠に意を用いた計画の点検評価の手法

■ 次期計画において見据えるべき教育の潮流

教育のデジタル化の進展、令和の日本型学校教育の姿のもと、教育のリ・デザインを進めていく必要性

- ・ デジタルとリアルの融合による創造的な学びなど、ポストコロナの時代に即した教育や学習の在り方の検討
- ・ 個別最適な学び、協働的な学びの充実を通じた、学習者主体の学校教育システムへの転換
- ・ 新しい時代の学びを支える未来の学校づくり(教職員の働き方・資質能力、新たな学校形態・施設整備等)

■ 次期計画において本市が大切にしたい教育の在り方

- ・ 岐阜市教育大綱の基本方針を、次期計画における本市の教育の礎となる考え方として置く
- ・ これからの未来を生きる子どもたちの今をしっかりと見つめ、誰一人取り残すことなく、一人ひとりが内に秘める可能性を最大限に引き出す教育の実現
 - 多様性が尊重され、誰もが自分らしく学びを深めていく中で、将来の夢や目標、自己肯定感を育む
- ・ 全ての大人が「オール岐阜市」で、子どもたちの学びと成長を支援、後押ししていく

2. 第3回会議の意見まとめ、反映について

前書き

- ・この計画に込めた思い、目指す子どもたちの姿、体系図の成り立ちの説明をここで示せるとよいと思う。
 - ・キャッチフレーズの言葉についても、前書きで触れられるとよい。
 - ・教育長が語る動画はいいと思う。一方的に話すのではなく、一緒に聞くような見せ方をしてはどうか。
- 本冊に前書きのページを設ける。なお、文章だけで表すのではなく、子どもたちから教育長へのインタビュー動画を作成し、本ページから閲覧できる仕様とする。
-

キャッチフレーズ

- ・「命、」の書き方、また「命」に「育む」という動詞がかかるのも違和感がある。
 - ・重みづけた言葉だと理解しつつ、「未来を拓く力」と並列でここに書くか、どうか。
- 基本目標1の「一人ひとりのよさが輝き」と同義であること、また、キャッチフレーズとしての文の長さ、分かりやすさを再考し、「未来を拓く力」に焦点化することとする。

基本目標1

・「生命の尊厳への理解」という言葉が、少し難しくないか。

→ 教育大綱の基本方針との一致を優先。このままとする。

基本目標2

・礎となる力という言葉が、少し分かりにくいのではないか。

・主体的かつ協働的は未来を拓く力の一つのはずが、そのベクトルが礎となる力のためになっている。
ここは、主体的かつ協働的な学びで、未来を拓く力（要は全体）を育てるのではないか。

・やはり一対一対応の手法だと他の基本目標も含め、矛盾が生じる。見直した方がよいのではないか。

→ 未来を拓く力の要素と一対一で対応させる構図を見直したうえで、主体的かつ協働的な学びを通じて、未来への礎となる力（要は全体）を育てる教育に取り組むという趣旨にする。

基本目標3

- ・基本目標の言葉と取組内容がなじんでいない。
 - ・個性という言葉が特別なニーズの意味合いに回収されてしまい、個性の意味合いが変わってしまう。
 - ・その場合、幼児教育の充実はこのグルーピングでよいのか。
- 「個性」という言葉を見直し、「その子らしさ」と表現する。そのうえで、幼児教育については、基本目標2にかかる取組として位置づけ、移行する。
-

基本目標4

- ・「ぎふMirai's」の取組に探究の要素を追加する。
 - ・「生きる」を学び、では意味が少し通じにくい。変えるとすれば、「生きるとは何か」を学び、ではどうか。
 - ・言葉の意味をそれぞれの人が考えることを促すような、意味を込めた言葉ならこれでいいのではないか。
- 「生きる」を学び、の言葉を生かす。また、探究の観点を重視し、「深く学ぶ」という言葉を追加する。
-

基本目標5

- ・「深く向き合う」と「温かさ・働きがいにあふれる」は、少し異なる項目のような印象を持つ。
 - ・子ども“と”ではなく、“に”とした方がよいのではないか。
- 子どもに深く向き合うために、働き方改革を行い、先生の資質も高めていく必要がある。深く向き合う中でのあたたかさや充実感を感じられる場所となることを目指す趣旨から、このままとする。

基本目標6

- ・「見据えた」という言葉を、「つながる」「創る」などの積極的な姿勢を示す言葉に変えてはどうか。
- 新しい時代の学びへとつなげていくことを強調し、「つながる」と言い換える。

基本目標7

・家庭教育はすべての教育の出発点であり、共に支えると並列でよいか。

→ 家庭教育の意義は、主な取組の部分で強調する。

・子どもとともに大人も学び合う、そのイメージが反映できていない気がする。

→ 大人も共に学び、皆で支え合う姿を表す文言へと修正する。

・親学びという言葉については、分かりやすさ、親という言葉の良し悪しも勘案し、慎重に考えること。

→ 親学びという言葉については、ご指摘のとおり使用を見直す。

・主な取組として、部活動の地域移行にかかる受け皿の整備を明示してはどうか。

→ 部活動の地域移行に関する取組は、2つ目の具体的な取組みとして整理する。

2-6. 第3回意見まとめ及び反映（諮問事項1-⑥）

構成・見せ方

・基本目標の1～4と5～7について、その違いを分かるように色分けするなどしてはどうか。

→ 大人が一体的に、協働して同じ目的に取り組む見せ方にこだわりたい。このままとする。

・イラストの子どもが大人のように見える。性別、インクルーシブなどの多様性も意識し、配慮されたい。

→ 指摘の点に留意しながら、今後、子どもたちにイラストを書いてもらうよう依頼予定。

・未来を拓く力の要素（左青丸）と基本目標の一対一対応の構図に拘らない方がよいと思う。

→ 今回の修正において、見直し。

諮問事項2

- ・コンパスキューブをベースにおいて説明しなくてもよいのではと思う。
- ・未来を拓く力のここに、コンパスキューブの目指すところが入っていると言えるようにする。
→ 諮問内容に沿い、前計画とのつながりを示す趣旨から、このままとする。

諮問事項3

- ・子どもたちにとって、自分の考えた意見が取り入れられたこと、ここに大変な価値がある。
→ 子どもたちのアイデアを積極的に、形にしていくこととする。

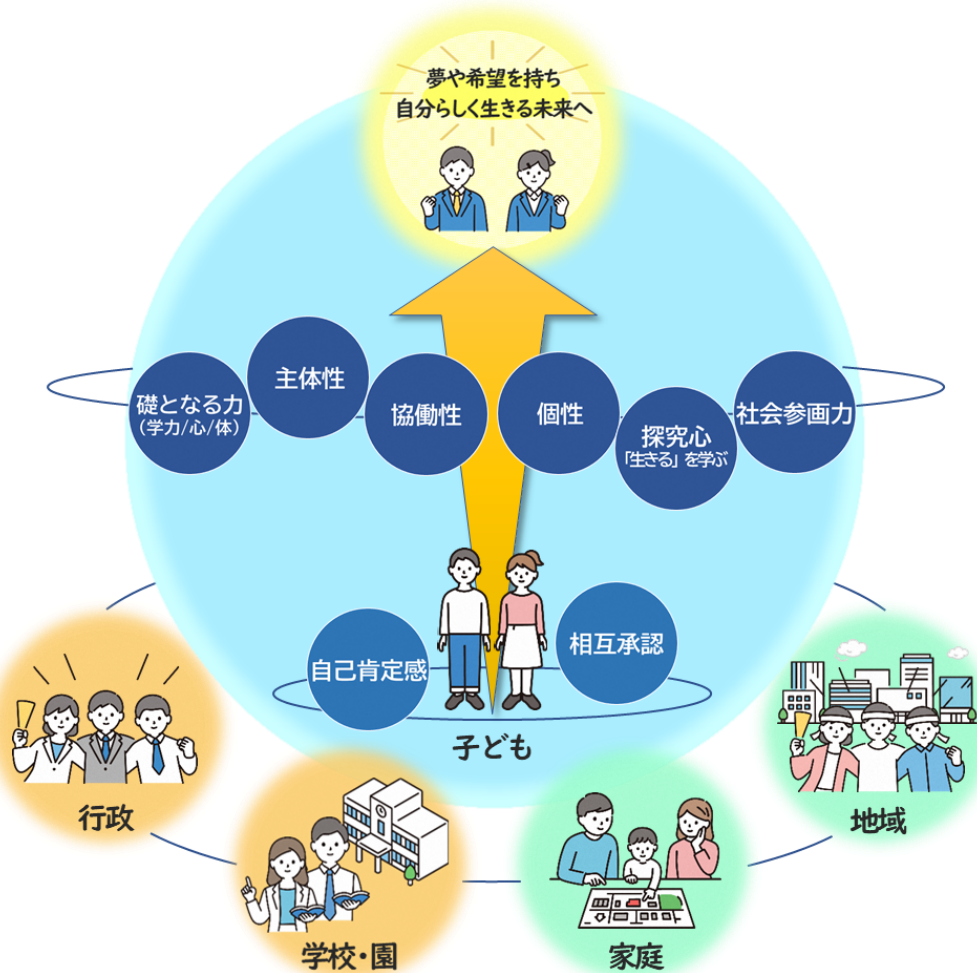
諮問事項4

- ・未来を拓く力を、全国学力・学習状況調査の項目と一対一で捉えることの整合性を確保できるか。これらは互いに重なり、関連し合って伸長するものではないか。
→ 計画上の指標とはせず、「未来を拓く力」や「夢や希望を持ち、自分らしく生きる未来」などの大目標に、代表指標をいくつかピックアップして評価していくこととする。
→ 個別の取組みの中で定量的な評価を積極的に用いるとともに、定性的な評価にエピソードや動画での子どもの声、現場の様子を詳細に示すなど、評価の充実を図る。

2-8. 計画の枠組みの全体像 及び 基本目標の柱建て(最終案)

第4期岐阜市教育振興基本計画 体系図

～ 希望あふれる未来を自ら拓く力を育む教育 ～



基本目標と主な施策



1. 一人ひとりのよさが輝き、互いに認め合う心を育む教育

- ・ 生命の尊厳への理解を深める学びの推進
- ・ いじめの防止等のための総合的な取組の充実

2. 主体的かつ協働的な学びを通じて、未来への礎となる力を育てる教育

- ・ 個に応じた学習の推進
- ・ 対話を重視した、協働的な学びの推進
- ・ デジタルを駆使した学習活動の充実
- ・ 探究心、創造力、表現力を育む教育の推進
- ・ 思いのままに遊び込む幼児教育の推進
- ・ 豊かな心、健やかな体の育成

3. その子らしさを生かし、可能性を伸ばす教育

- ・ 障がいの特性を踏まえた特別支援教育の充実
- ・ 不登校の子どもの居場所づくりと学びの支援
- ・ 家庭の環境に左右されない学びのセーフティネットの充実
- ・ 特異な才能を生かす学びの充実
- ・ 外国ルーツの子どもの学びの支援

4. このまちと人から「生きる」を学び、社会参画する力を培う教育

- ・ 岐阜市の人・もの・ことから深く学ぶ「ぎふMirai's」の推進
- ・ 地域とともにあるコミュニティ・スクールの活動の更なる深化
- ・ 身近な生活や社会課題との関わりを通じた学び・体験機会の充実

5. 子どもに深く向き合う、あたたかさで働きがいにあふれる学校・園づくり

- ・ 学校業務改革と教職員の働きやすい環境づくり
- ・ 教職員の資質・能力と専門性を高める、主体的な研修体制の充実

6. 新しい時代の学びにつながる、教育システムの整備

- ・ 学校のデジタル環境の充実による、教育DXの推進
- ・ 将来の学校のあり方を踏まえた、新たな教育制度や多様な学校形態の展開
- ・ 安全・安心を保障する、誰もが居心地のよい学校環境の充実

7. 子どもも大人も共に学び支え合う、家庭・地域の教育力の向上

- ・ すべての教育の出発点となる、家庭教育に対する支援の充実
- ・ 社会における学びの基盤となる、人づくり・つながりづくり・拠点づくり
- ・ ワクワク学べる、安心して過ごせる地域の居場所づくり

3. 參考資料

3-1. 委員名簿

● 計10名、任期はR4.6.1からR6.5.31までの2年間

50音順、敬称略

氏名	所属	役職
青山 朋宏 (あおやまともひろ)	岐阜小学校学校運営協議会	会長
荒木 裕子 (あらかきゆうこ)	臨床心理士	スクールカウンセラー
上松 英隆 (うえまつ ひでたか)	岐阜市小中学校長会	岐阜中央中学校長
尾関 圭司 (おせきけいじ) <small>副委員長</small>	岐阜商工会議所	濃飛倉庫運輸株式会社 代表取締役社長
玉置 崇 (たまおき たかし) <small>委員長</small>	岐阜聖徳学園大学	教育学部 教授
樋田 光代 (といだみつよ)	岐阜市小中学校長会	岐阜特別支援学校長
長谷川 哲也 (はせがわ てつや)	岐阜大学	教育学部 准教授
広瀬 みゆき (ひろせ みゆき)	岐阜市立幼稚園長会	加納幼稚園長
福地 淳宏 (ふくち あつひろ)	岐阜聖徳学園大学	教育学部 准教授
松岡 桂 (まつおか かつら)	岐阜市PTA連合会	監事

3-2. 年間の会議日程

● 今回を含め、年間4回の会議を開催

回	日時	場所	協議内容
第1回	6月1日(水) 13:30~15:30	市庁舎 6-1大会議室	①計画策定に際しての現状把握、考え方 ②育みたい力、取組みの基本的方向性に関する審議
第2回	8月19日(金) 14:00~16:00	ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ	①第1回会議の意見まとめ ②計画の全体像、基本目標に関する審議
第3回	10月4日(火) 13:30~15:30	市庁舎 6-1大会議室	①第2回会議の意見まとめ ②計画(答申骨子)に関する審議
第4回	11月8日(火) 13:30~15:30 (予定)	市庁舎 6-1大会議室	①第3回会議の意見まとめ ②計画(答申(案))に関する審議・決定

3-3. 策定スケジュール

● 教育委員会の意見、総合教育会議での協議意見も踏まえながら、策定を進める

